

シンポジウム
新たなカーボンクレジットの考え方に向けて
ーセクトラルアプローチ・REDD・CDM の検討ー

現在政府は温室効果ガスの削減目標を 1990 年比で 2020 年に 25%、更に 2050 年には 60~80% としています。この大幅な削減目標を、これまでの国内削減方策をもって達成することは困難と考えられ、その場合には途上国からカーボンクレジットを購入せざるを得ないこととなります。私ども特定非営利活動法人日本気候政策センターは、小規模ではありますが下記シンポジウムを開催し、カーボンクレジットの算定方法について新たな考え方を検討し、ポスト京都の国際社会に向けて提案していきたいと考えています。本シンポジウムでは、①セクトラルアプローチ、②REDD、③修正型 CDM を組み合わせるグローバル削減方式を提案するとすればどのような課題があるのか、現在それぞれのアプローチで別々に議論されていますが、これを同じ土俵の上で検討をする試みとして開催いたします。①②③それぞれの専門家 1 名から問題提起をしていただき、その後、排出権取引に関心のある企業関係者、行政関係者、研究者などをはじめ、小規模なグループでブレインストーミング的なディスカッションができれば、と考えております。

本日はご参加いただき、ありがとうございます。皆様から活発なご意見をいただければ幸いです。

記

1. シンポジウムテーマ 「新たなカーボンクレジットの考え方に向けて
ーセクトラルアプローチ・REDD・CDM の検討ー」
2. 日 時 平成 22 年 3 月 9 日(火) 13:30~16:00
3. 場 所 TKP 虎ノ門ビジネスセンター カンファレンス 8 A (8 階)
(東京都港区虎ノ門 1-1-12 虎ノ門ビル、TEL:03-3519-6533)
4. プログラム 13:30~13:40 開会挨拶(当センター 理事長 森島昭夫)
13:40~14:00 「セクトラル・アプローチについて」
澤 昭裕 氏
日本経団連 21 世紀政策研究所 研究主幹
14:00~14:20 「REDD について」
小林 紀之 氏
日本大学 大学院法務研究科 教授
14:20~14:40 「CDM について」
田上 貴彦 氏
財団法人日本エネルギー経済研究所 地球環境ユニット
地球温暖化政策グループ 主任研究員
14:40~14:45 休憩
14:45~15:55 ディスカッション
15:55~16:00 閉会挨拶
5. 参加費 無料

以上

<お問い合わせ先> 特定非営利活動法人日本気候政策センター (担当: 国井、鈴木、尾利出)
〒105-0003 東京都港区西新橋 1-1-15 物産ビル別館 1 階
Email : staff@jcpc.or.jp
TEL : 03-3519-5353 FAX : 03-3593-9500